

## 大地震に備える 避難所までの経路を確認

11月23日、氷上中学校で大地震発生を想定した避難訓練が実施されました。氷上地域の中央地区住民が、自宅から避難所に指定されている氷上中学校までの避難経路を確認しました。

参加者は「小さな子どもやペットと暮らしています。一緒に避難する場合にはどうしたらいいかを考え直すいい機会になった」と話しました。



避難所到着し、名簿に名前を記入する参加者

## 関西国際大学がインターンシップ アジサイの株を植え付け

12月2日から4日まで、関西国際大学の学生11人が復興まちづくり協働事業「アジサイの栽培による農の再生プロジェクト」に参加し、地域住民と一緒にアジサイの植え付けをしました。

今年の夏から畑づくりやアジサイ株の準備に関わってきた学生たちは「農機具を使ったことがなく苦労したが、やりがいがあった」と、畑一面に植わったアジサイを笑顔で見守っていました。



アジサイの植え付けは地域の家族と一緒に（市島地域）

## 青年海外協力隊員 足立良太さん 小学生に体育を指導

11月25日、青年海外協力隊員としてアフリカのモザンビーク共和国に派遣されていた足立良太さんの帰国報告が行われました。

現地の小学校で、体育の授業やサッカーなどの課外授業をしていた足立さん。「知らない土地で、相手を受け入れる許容力が高まった。この経験を生かし、将来を考えたい」と話しました。



現地での活動を報告する足立良太さん

## 社会を明るくする運動 長年の協力に感謝

“社会を明るくする運動”の啓発場所として、10年以上、店舗入口の一角を提供する「サンウエキ株式会社」に神戸保護観察所長から感謝状が贈られました。11月30日、辻重五郎丹波市地区推進委員会委員長から感謝状が伝達されました。

植木和也社長は「感謝状を手にし、大変光栄に思う。地道な活動だが、これからも全面的に協力していきたい」と改めて協力を約束しました。



感謝状を贈られたサンウエキ株式会社社長植木和也さん



地域おこし協力隊の活動を報告します

仕事面から移住・定住促進をめざす  
やぎしたなごみ

## 八木下和さん vol.2

経歴：宝塚市出身。大学卒業後、県のアンテナショップで野菜の集荷や廃校になった小学校でカフェの運営、イベント企画など地域にかかわる仕事に携わる。



はじめまして。4月から地域おこし協力隊として、仕事の面から移住・定住を促進する活動をしている、八木下和です。主に春日庁舎2階の住まいづくり課や移住相談窓口で働いています。移住相談会に参加して、相談者に情報提供したり、11月30日に開設した移住希望者向けの仕事情報サイト「たんばの仕事」の管理・運営をしたりしています。

サイト開設のため、4月から企画書の作成や関係各所との調整など準備を進めてきました。移住希望者にとって、移住を決める大切な要因は、住まいと仕事。住まいは「住まいのバンク」、仕事は「たんばの仕事」の2つ

のサイトで情報を提供し、移住・定住を促進します。

「田舎には仕事がない」というイメージが強いかもしれませんが、人材不足で困っている事業所も多いのが現状です。取材に行くと、すべての事業所にストーリーがあり、やりがいを持っていきいきと働いている方がいらっしやいます。丹波市には、こんな魅力があるんだと発見の日々です。

仕事が要因で移住に踏み切れない人たちに情報を発信し、事業所が求めている人材が見つかる仕組みをしっかりとつくりたいです。



今月の

FB  
フェイス  
ブック

&

LINE  
ライン

市のフェイスブックやラインに投稿した記事を紹介します。

## 仕事情報サイト「たんばの仕事」 本日開設！

11月30日（水）フェイスブック投稿



市内事業所などのやりがいのある仕事や魅力ある仕事を紹介するサイト「たんばの仕事」が11月30日にオープンしました。通常の仕事情報サイトとは違い、勤務や給与などの求人情報以外の情報も掲載。担当の地域おこし協力隊八木下和さんが1社1社訪問し、経営者やそこで働く人の思いや仕事の本質などを丁寧に取材し、インタビュー形式で紹介。

気になる仕事があれば、丹ワークサポートたんばやハローワーク柏原、事業所と直接やり取りができます。掲載事業所は随時追加予定。今後は、みこしの担ぎ手など、地域で必要とされる人材も紹介予定です。